

# 令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜Bブロック1回戦＞

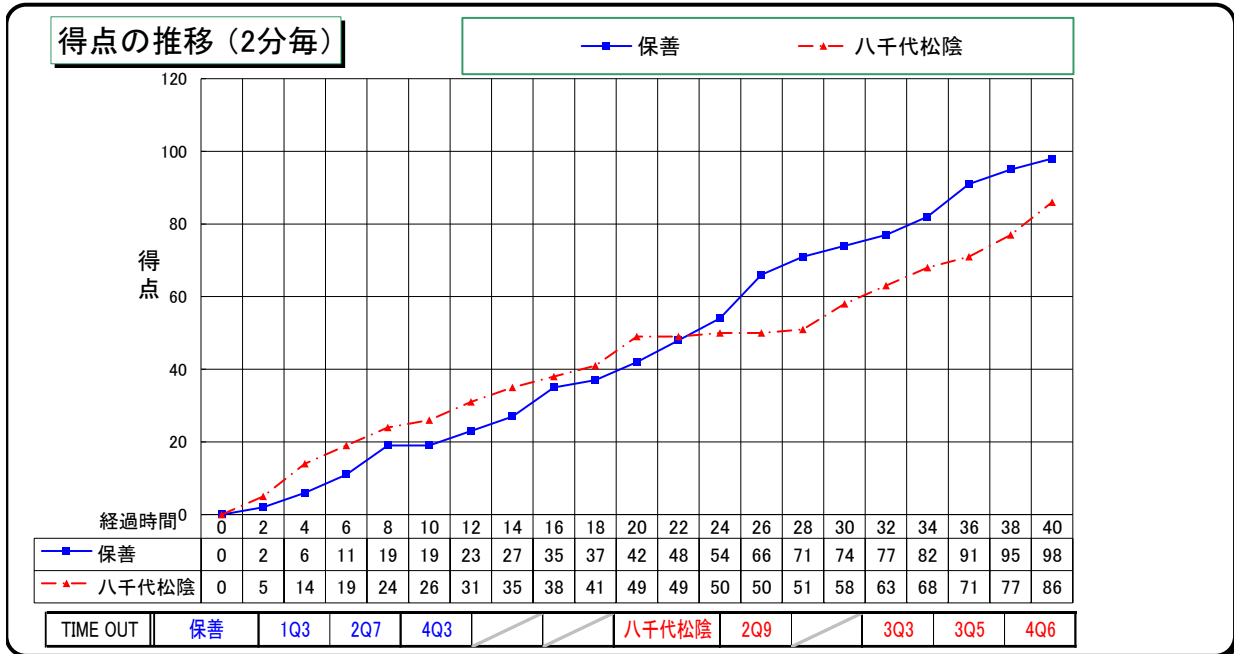
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Bコート	第1試合 9:00～										
<b>&lt;チームA&gt;</b> <span style="font-size: 2em; color: blue;">98</span> <b>保善</b> <b>東京</b>	<table style="margin: auto;"> <tr><td>19</td><td>1Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>23</td><td>2Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>32</td><td>3Q</td><td>9</td></tr> <tr><td>24</td><td>4Q</td><td>28</td></tr> </table>	19	1Q	26	23	2Q	23	32	3Q	9	24	4Q	28	<b>&lt;チームB&gt;</b> <span style="font-size: 2em; color: red;">86</span> <b>八千代松陰</b> <b>千葉</b>
19	1Q	26												
23	2Q	23												
32	3Q	9												
24	4Q	28												

主審: 根本 優 (茨城)    第1副審: 望月 裕太郎 (山梨)    第2副審: 板谷 修平 (神奈川)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	4	中島 晟	3	1	1					1	1	3	
◎	5	小川 魁斗	16	2	5	4	9	2	2	3	1	8	6
○	6	酒井 小次郎	6			3	3		1		3	1	1
◎	7	峯村 日向	8		1	4	9			5	1	6	1
◎	8	澤田 嶺	15		1	7	11	1	1	3	1	2	1
◎	9	大津 光合	29	4	12	3	11	11	11	2	2	4	8
○	10	清水 敬心								1			
○	11	四宮 友之真	2					2	2				1
○	12	石綿 亜友人	9	1	1	3	5		1	4	2	4	
◎	13	野口 緋秋	9	1	1	3	4			3			
○	14	本田 洸介											
○	15	満 家成											
○	16	川崎 湊翔											
○	17	福原 見真											
○	18	榎本 春駆	1					1	2				1
コーチ 真部 貴之													
合計			98	9	22	27	52	17	20	22	11	30	17

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	杉本 大和	20	4	4	3	9	2	4	4	6	8	2
◎	5	藤林 颯太	17		1	6	11	5	8	1	1	4	7
◎	6	宮武 凜太郎	22	4	9	3	9	4	5	4		3	1
○	7	有賀 優	2		4	1	6			3	3		1
◎	8	大野 連太郎	4		2	2	5					1	
○	9	佐野 光	12	2	7	2	3	2	5	4	1	3	1
○	10	金澤 煌大	3	1	4						1		
○	11	早坂 広大	1		3		1	1	2	1		2	
◎	12	梅 弘宇	5		2	2	4	1	1		1	3	1
	13	滝沢 陽也											
	14	齋藤 海輝											
	15	弘中 耀											
	16	大橋 由弥											
	17	志賀 陽星											
	18	千葉 雄登											
コーチ 堀田 貴司													
合計			86	11	36	19	48	15	25	17	13	24	13

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



**戦評**    記入者: 鈴木 岳史

令和5年度関東高校男子バスケットボール大会Bブロック1回戦、保善高校(東京都、以下保善)vs八千代松陰高校(千葉県、以下松陰)。

第1Q、ディフェンスは両チームともにハーフコートマンツーマン。#12梅のゴール下で先制した松陰が#6宮武の3Pを含め開始1分20秒で0-5のラン。対する保善は#5小川のフリースローで初得点を挙げるが、松陰は#4杉本のドライブインと3P、#8大野のファストブレイクで連続得点。開始約3分、4-12と松陰に8点をリードされ、タイムアウトを請求した保善は#9大津を中心に反撃。しかし、タイムアウト明けからオールコートでのディフェンスに変更した松陰は#5藤林#6宮武のベネトレイトを中心に保善ディフェンスを撓乱すると、フリースローも高確率で沈めつつ着実に得点を重ね、19-26と松陰が7点リードで第1Q終了。

第2Q、ピハインドを縮めたい保善は、積極的なドライブインや、オフenseリバウンドからのゴール下などで得点していく。リードの維持・拡大を図りたい松陰は、2-2-1ゾーンプレスを展開し、前線からプレッシャーをかけた。オフェンスでは第1Q同様にガード陣のベネトレイトを起点に攻める。松陰のプレッシャーによりターンオーバーも多かった保善が速攻や#9大津の3Pで食らいつつ、松陰も#5藤林の連続得点と#10金澤の3Pで応戦し42-49と松陰7点リードで前半終了。

第3Q、#5小川の3Pで反撃の狼煙を上げた保善は開始約2分で12-0のランをみせ、一気に逆転。ディフェンスでも素早いローテーションから松陰にイーージーショットを打たせずリードを拡大する。保善のプレッシャーを前にタフショットが多くなり、ドライブインからのパスをカットされ速攻に繋げられるなどオフェンスのリズムがうまく作れなくなった松陰。2度のタイムアウトで保善に渡った流れを断ち切りたいところだったが、前半には決まったシュートが決まらず、追い上げられない。対して、保善は集中したディフェンスからの素早いランジションオフェンスや#12石綿と#9大津の連続3Pなどで加点。このクォーターを32-9とし、逆転から一気にリードを拡大した保善が74-58と16点リードで最終Qへ。

第4Q、再び流れを引き寄せたい松陰は2-2-1ゾーンプレスを継続し、前線から保善ガード陣にプレッシャーをかける。対する保善はバックコートでのターンオーバーの場面で増えてはきたが、ゾーンプレスを回避したポジションでは1本ずつ着実に得点していき、流れを渡さない。諦めない松陰はゾーンプレスを掛け続け、オフェンスでは#6宮武を中心に攻め、逆転を目指す。中盤以降、両チームが点を取り合う展開になる中、保善はドライブインやアウトサイドシュート、フリースローで加点しつつ、集中したディフェンスで松陰オフェンスにランは許さず、終盤にはメンバーチェンジでフレッシュなメンバーを起用しつつ、リードを維持。#6宮武の連続3Pで追いすがれる松陰に逆転を許さず、98-86と保善が12点差で勝利し、2回戦進出を決めた。